

アマ リ ア



瓶 詰 の

びん
づ
め

中里
りえ
Rie
Nakazato

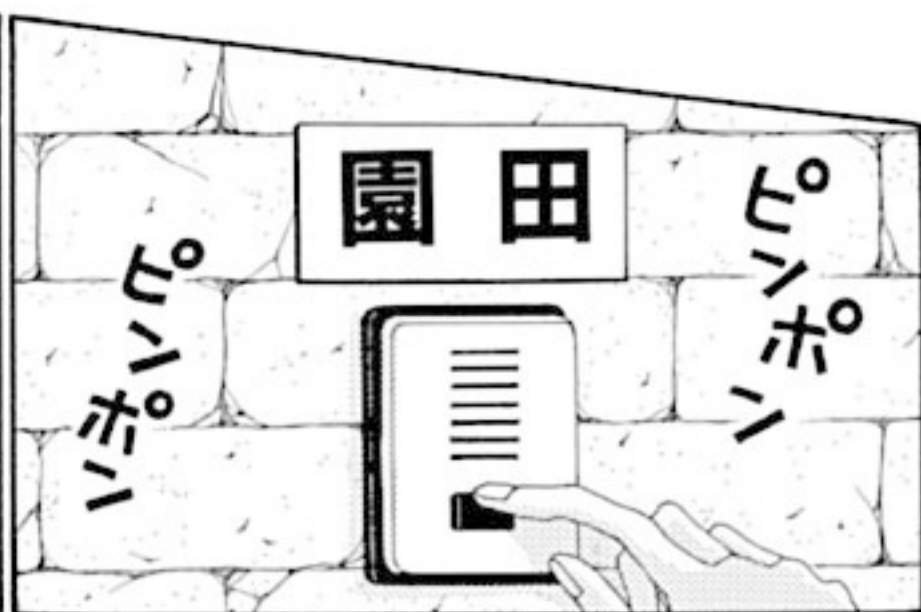
1

いつも僕のそばに
ずっと僕のそばに

ガラスの瓶びんにきみを詰めて

僕は永遠に
きみを抱いて眠る――

ジュンポーン……



おかしいな……

電気はついてるん
だけどな……



……叔父さん



キーン……

叔父……





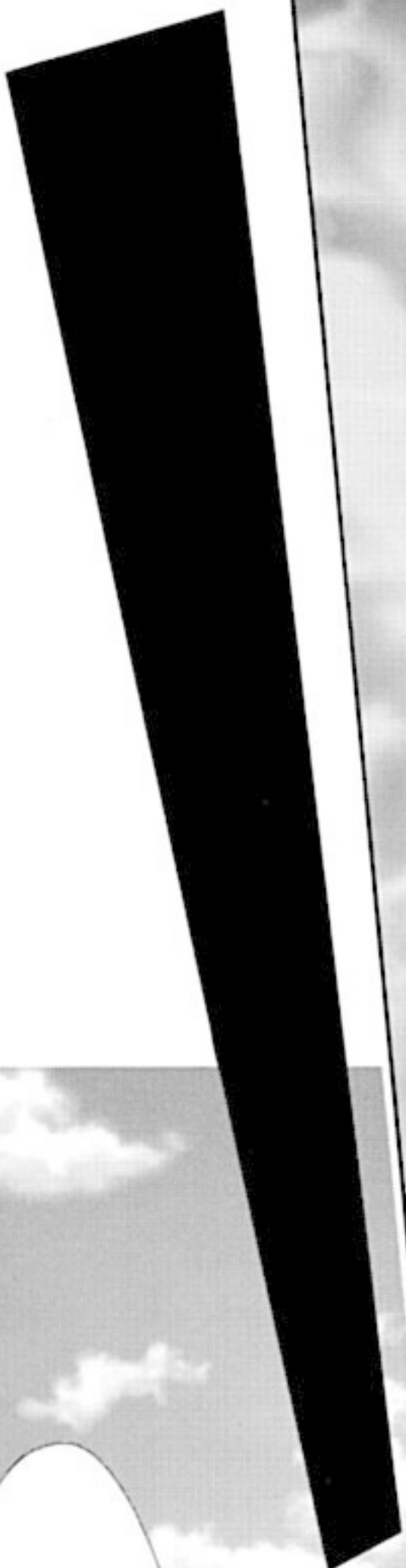




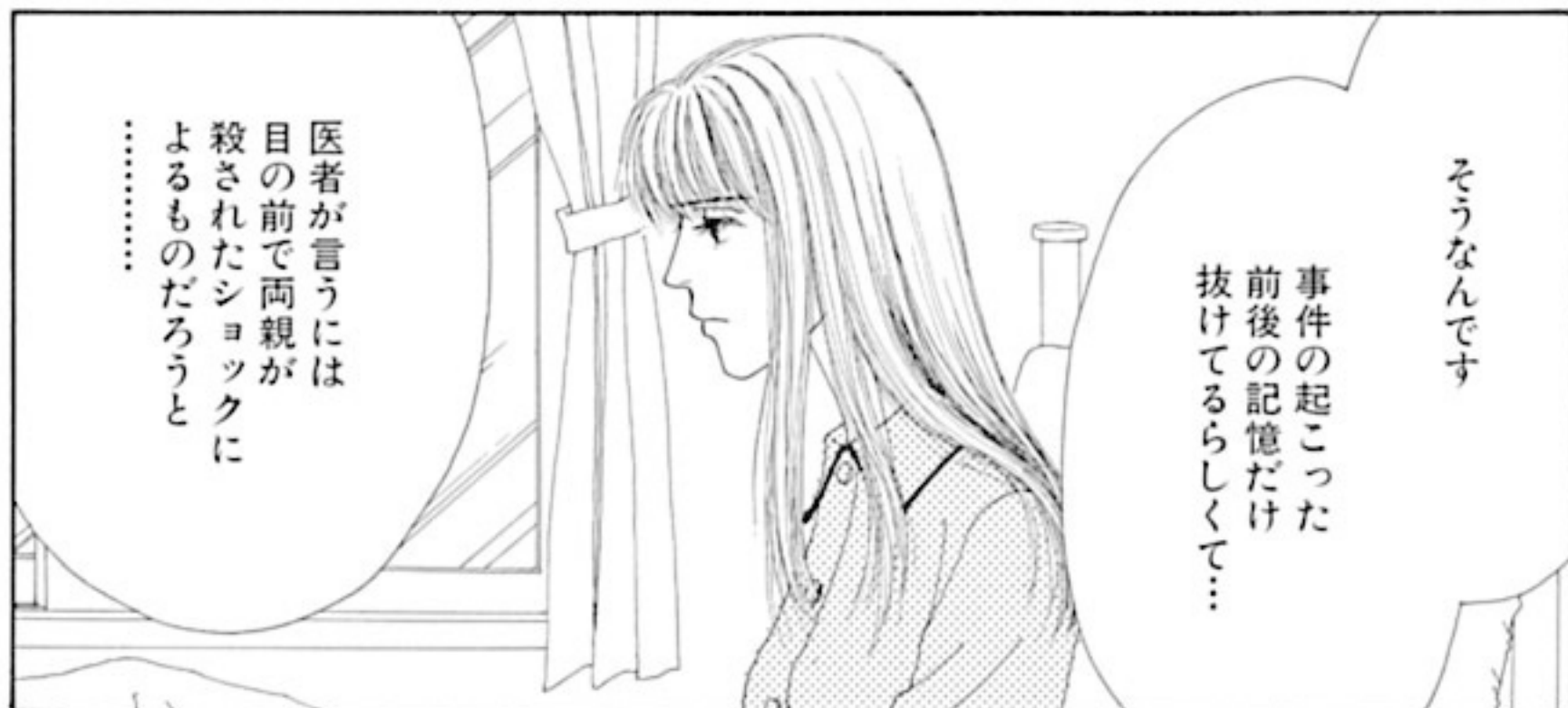




—記憶がない？



あ
あ
あ
あ
あ



そうなんです

事件の起こった
前後の記憶だけ
抜けてるらしくて…

医者が言うには
目の前で両親が
殺されたショックに
よるものだろうと
……………



記憶のないふりを
してるってことは？

やっぱりまだ
疑ってるんですか
園田歩美のこと

でも 目撃証言が
あるじゃないですか

あの家から出ていく
人影を見かけたって
いう……………



テラスは
開け放たれていたが

外部からの侵入者の
形跡ははっきりしないし

凶器のナイフからは
あの子以外の指紋は
出なかったんだからな

第一発見者で
被害者の甥の
甲本淳生の証言か



高1の春
わたしの母は小説家の
園田俊輔と再婚し
あの家に住むようになった





こんにちは
叔父さん

淳生くんは
園田俊輔の甥で

そのときからわたし達は
いっしょに同じになっただ

(だから血はつながって
いないのだ)



同じ年の
わたしと淳生くんは
偶然同じ高校に
通っていた

クラスが
違っていたので
それまで
話したことは
なかったけれど



義父は変わり者で
気難しく
親戚や友人など
ほとんど寄りつかない
この家に
甥の淳生くんだけは
ひんぱんに顔を見せた

彼の目当てが
義父の書齋にあふれる
高価な蔵書らしいと
わかりかけた頃

わたしは
気づき
はじめていた

淳生くんが
家に来るのを
心待ちにしている
自分に――

……あの日も
いつもどおりに

5時過ぎには
学校から帰って
きていたと思います

家に帰ってまず
なにをしたの？

夕食をつくって
食べました……

家族と一緒に？



留守だったの？

ご両親は？

…いいえ
ひとりでした



…義父は たぶん
書齋で仕事を
していたんだと
思います

それに義父とは
一緒に食事を
したことは ほとんど
なかったんです

仕事から
義父の食事の時間は
不規則だったので
………



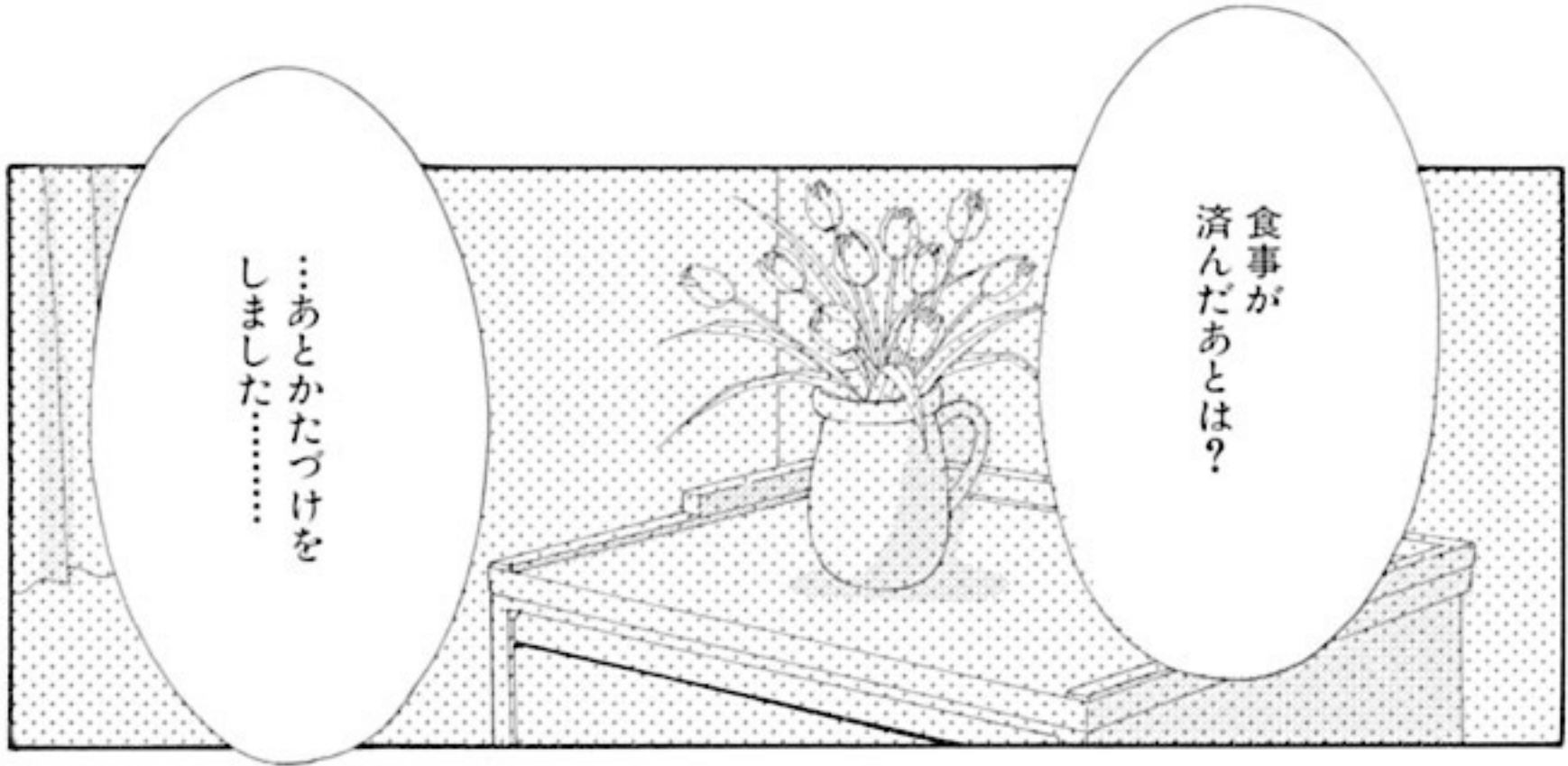
お母さんは？

2階で
寝ていました

母は昔から
からだの弱い人で

最近 とくに
調子がわるくて

寝ていることが
多かったんです…





……わかりません！

きみのいとこが
家に入る前
人影を見たと言
言っているんだが

きみはその人物を
見ていたんじゃないの
のかい？



……わかりません



きみのいとこが
家に入ったとき
凶器のナイフは
きみが握って
いたんだよ！

覚えて
いません

思い出せないん
です……！！

いかげんに
しろよ！



どちらとも
いえません

なにかのきっかけで
すべての記憶が戻る
こともありますし

一生このままという
ことも考えられます

.....

—回復の可能性は？

—それからわたしは
しばらく入院したあと

淳生くんの家にはひきとられた

(わたしの母方には
親戚がいなかったのだ)

事件から半年が
過ぎた今も

義父と母を
殺害した犯人は
わかっていない

そしてわたしは
あのときのことを

なぜあんなことが
起こったのかを

どうしても
思い出せないのだ